さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

問1

2022年に山梨県を訪れた観光客数は、前年より増加しましたが、調査開始以降、5番目に少なかったです。2022年の県外と県内からの観光客数を答えてください。

・県外：＿＿＿＿＿＿人

・県内：＿＿＿＿＿＿人

問2

2022年の観光客数は、前年と比較して増加しましたが、減少したものがあります。何が減少しましたか。また、その理由も答えてください。

・減少したもの ：＿＿＿＿＿＿

・理由 ：＿＿＿＿＿＿

県内観光客2738万人

昨年 過去5番目の少なさ

県が6日発表した2022年の観光客数調査によると、県内を訪れた観光客は2738万4千人で、前年の約1・5倍に増えた。一方、現在の方法で調査を始めた11年以降では5番目に少なく、新型コロナウイルス感染拡大前の19年の水準には戻らなかった。観光消費額は14・0%増の3066億円で、同じく過去5番目に少なかった。

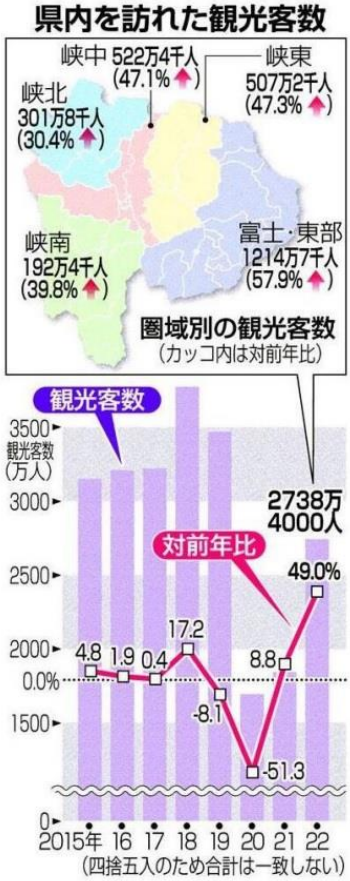
県観光文化・スポーツ総務課によると、県内の観光名所やイベント会場を訪れた人数、宿泊施設の利用状況などから推計。外国人を含む県外客は2232万9千人に上り、前年から66・7%増えた。県内客は505万5千人で、1・4%の微増。全体で観光客は900万6千人（49・0%）増加した。

全体のうち、日帰り客は45・0%増の1924万6千人。宿泊客は59・3%増の813万8千人だった。

コロナ禍前の19年と比べると、全体の観光客は21・0%、日帰り客は25・3%、宿泊客は8・3%、いずれも下回った。

県内を5圏域に分けると、富士・東部が57・9%増の1214万7千人で最多。峡中が47・1%増の522万4千人、峡東が47・3%増の507万2千人、峡北は30・4%増の301万8千人、峡南は39・8%増の192万4千人だった（四捨五入のため合計は一致しない）。

1人当たりの観光消費額は1万1196円で、前年より3438円（23・5%）減少した。同課は、物価高が客単価に影響したとみている。〈宇賀神将樹〉



（2023年11月7日付 山梨日日新聞18面）

問3

次のエリアを、前年と比較した観光客数の伸び率の高い順に、順位を付けてください。

[　　]峡中　[　　]峡東　[　　]峡北　[　　]峡南　[　　]富士・東部

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2023 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.